



Person 07

宮城県東部保健福祉事務所 成人・高齢班

大野 若菜

Wakana Ōno

- 2010年 生涯教育総合課程(L課程)
教育環境コース 教育臨床専攻 卒業



小さな総合大学で、 新しい世界に 挑戦する力を

教師以外の進路を目指す宮教大生は、「なぜ教師にならないのか」という問いに突き当たります。

私が在席した専攻(コース)の専門科目は臨床心理学でしたが、学生時代は、専攻の勉強よりも自分の好きな学問にのめり込んでいました。一般教養で受講した社会学や政治学の内容がとても面白かったです。専攻の授業のかたわら社会科学系の講義を時間割に詰め込み、気がつくと、哲学の研究室で卒業論文に取り組んでいました。

そんな私にとって、宮教大は「小さな総合大学」でした。教育学部という入口の先に、数多の学問がひしめき合っている。専攻が異なっても、意欲があればどんな分野にも飛び込んでいける。これは「総合大学」としての教育学部の魅力です。既存の枠組みにとらわれず新しい世界に挑戦する力、自ら学び取る姿勢を身につけることができたのも、学生の意欲を重視する大学の気風によるものだと感じます。

冒頭の問いですが、私の場合、「学校教育に留まらず幅広い分野で社会と関わりたくなった」—これが答えでした。中でも公務員(行政職)は教員や民間企業と比べると、いろいろな部署があり、人とのつながりも多種多様。ここでなら、前述の挑戦する力を活かせると思ったのです。

行政職は単なる事務職ではなく、あらゆる場所で、様々な人と向き合う職業です。まったく経験のない業務に従事することも多く、大学で培ったチャレンジ精神や積極性が支えになっています。現在は高齢者福祉に携わっており、宮教大で得たものは、教師とは別の道を選んだ今でもかけがえのない財産です。